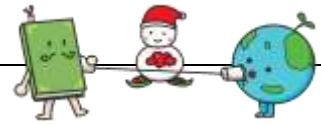


## 【社会】



<学習内容> 「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆ 「天皇中心のくにづくり」（教科書 28～31 ページ）をもとに、飛鳥時代や奈良時代の様子についてそれぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

ことば(教科書 P29)

(1) <sup>しょうむてんのう</sup>聖武天皇は、仏教の力で国を治めようと思いました。

聖武天皇が行ったことについて、教科書 28～31 ページを参考に、下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

- ・西暦（ ）年、24 才の時に天皇の位についた。
- ・（ ）から次々と都を移した。
- ・ばく大な費用をかけて国ごとに（ ）を建てることを命じた。
- ・世界を仏の光で照らすことを願い、（ ）をつくる <sup>みことのり</sup>詔を出し、東大寺に置いた。

(2) 教科書 28 ページに「都のにぎわいを支える地方の人々の生活は厳しいものでした」とありますが、どのような生活をしていたのか、教科書で調べてまとめましょう。

ことば(P31)

(3) 大仏づくり（教科書 30～31 ページ）について答えよう。

- ① 大仏づくりで使った金属の量と働いた人の数について調べ、まとめましょう。  
(金、水銀、銅、すずのそれぞれの量と、働いたのべ人数)
- ② 大仏づくりに協力した僧で、「菩薩」とよばれ、したわれていた人は誰ですか。
- ③ 大仏づくりでは、すぐれた技術をもっており、活やくした人たちがいました。その人たちのことを何と言いますか。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・東京都で国分寺の置かれた場所は、今でも「国分寺」という地名が残っています。地図帳で調べてみると、現代とのつながりが感じられ、歴史への興味が広がります。